

## スタートアップ創出「第 21 回なのはなコンペ 2023」公募要領

### 【1. 内容】

千葉大学学術研究・イノベーション推進機構（IMO）は、本学教員や大学院生（以下「研究者等」という。）のアントレプレナーシップ（起業家精神）を高めるとともに、技術シーズをもとにした事業化に必要なエッセンスの提供を進め、スタートアップの創出支援を行っています。研究者等の技術シーズの事業化プランやビジネスモデルを申請していただき、IMO が監修するアクセラレーションプログラムによる座学と演習を通じた事業開発ノウハウの習得、最終 Demo Day での発表を通じ、事業化実現可能性を高めてまいります。

### 【2. 事業期間】

採択日（9月末を予定）から2024年3月29（金）まで

### 【3. 参加資格】

以下の①～⑤をすべて満たすこと

- ① 千葉大学の教職員・学生であること。
- ② 学生の場合は研究室に所属していること、または、チームで参加する場合は代表者の学生が研究室に所属していること（代表者以外は研究室に所属していなくてもよい）。
- ③ 製品・サービス化が可能な、ご自身（または研究室）の研究・技術シーズを持っていること（特許出願など知財があると望ましい）
- ④ アクセラレーションプログラム（10月～11月を予定）に参加ができること（チームで申請の場合、少なくともチームメンバーの1名以上が参加してください。）
- ⑤ 申請は、1人（1チーム）1件とします。
- ⑥ チームで参加する場合は、3名/チーム以内とします。

※ 昨年度「第20回なのはなコンペ2022」にて最優秀賞又は優秀賞を受賞された方は申請できません。

※ 大学院生の参加者は、用いる研究・技術シーズや内容について、事前に指導教員の了解を得てください。

【4. 募集期間】 8月1日（火）～ 8月31日（木）17：00

### 【5. 選考と研究助成】

書面（1次審査）及びヒアリング（2次審査）により、将来的な研究成果の事業化の実現可能性を評価して、採択可否を決定します。（9月下旬予定/3件程度）

採択者には2023年度（10月～3月）GAP ファンド資金（上限100万円）を IMO から申請者所属部局の研究室に配分します。

（※）GAP ファンドとは、事業化に向け研究機関に属する研究成果と事業化との間のギャップを埋めるため、仮説検証のためのデータ（実験結果、計算結果）を得て PoC を得る、あるいは、試作品製作、ビ

ビジネスモデルのブラッシュアップ等を進めるための資金です。

## 【6. コンペの流れとスケジュール】

- ・ 1次審査（書面） 9月1日（金）～9月7日（木）
- ・ 2次審査（ショートプレゼン/質疑応答） 9月11日～9月15日の期間で発表者の都合を配慮して調整のうえ決定
- ・ 採択決定：9月下旬を予定（3件程度を予定）

### <アクセラレーションプログラム内容>

全4回で、以下の内容を中心に学びます（順番が変更されたりする可能性もございます）。

- Day1
  - ・ ビジネスモデルと研究成果の事業化
  - ・ 顧客と顧客価値の設定について
- Day2
  - ・ 事業計画と資本政策① 座学/グループワーク
- Day3
  - ・ 事業計画と資本政策② 座学/グループワーク
- Day4
  - ・ プレゼンテーショントレーニングと Demo Day 準備

※状況によっては、オンライン開催となる場合がございます。

### <Demo Day（成果報告会）>

外部審査員を招聘し、コンテスト形式で行います（予定）。

優秀な事業化プランについてはIMOが継続した支援を行って参ります。

## 【7. 申請方法】

申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールにてIMOスタートアップ・ラボ担当までお送りください。チームで参加する場合は、参加者全員の情報を記載してください。

ファイル形式はワードファイル、ファイル名は”代表者氏名.docx”としてください。

（例 代表者氏名：foo bar の場合 → ファイル名：FooBar.docx）

## 【8. 申請書送付先】

IMO スタートアップ・ラボ imo-entrepreneur@ (@マーク以下に、chiba-u.jp)と入力してください。

## 【9. 問合せ・ご質問】

IMO スタートアップ・ラボ

imo-entrepreneur@ (@マーク以下に、chiba-u.jp)と入力してください。